

広報

心ながた



2012年 10大ニュース ②③

<特集>

ありがとう、小学校 ④～⑦

第13回山形ふるさとCM大賞 ⑧⑨

小学校統合準備委員会進捗状況 ⑩

まちのわだい ⑭⑮

ティール教室
(生涯学習センター)

2012年

No.646

12



今年もいろいろなことがありました。
7月27日から8月12日までの17日間、開催されたロンドンオリンピック。日本は金メダル7個、銀メダル14個、銅メダル17個を獲得。なかでも柔道の吉田沙保里選手の3連覇、女子サッカー「なでしこジャパン」や卓球女子団体が銀メダルを獲得するなど、日本の「女子力」を世界で証明した大会となりました。
12月16日、衆議院議員選挙の投開票が行われ、自民党が大勝、政権交代となりました。
今年の漢字は「金」。みなさんにとってどんな一年でしたか？舟形町の一年を一緒に振り返ってみましょう。

奥山知雄町長が再選

(2/13)

任期満了に伴う舟形町長選挙が2月7日に告示され、奥山知雄氏が無投票で再選。

「町民のみなさんと作り上げた『第6次舟形町総合発展計画』を着実に実現させていくことが責務。気を引き締めて町政執行にあたります。」



舟形町に新しい“ちから”

(4/1)

「地域おこし協力隊」飯田雅子さんと小林信之さん、「緑のふるさと協力隊」井村亮太さんの3名が4月から舟形町に移住。農林漁業などを通じて地域のみなさんと関わりながら、地域活性化のために頑張っています。



ほなみ19床増床

(4/1)

地域密着型福祉複合施設「ほなみ」が19床増床し、竣工式と完成を祝う会が行われました。合計29床となり、今後も利用される方々の生活を「もうひとつの我が家」として、地域の方とともに支えていきます。



豪雪対策本部設置

(1/10)

11月から断続的に降り続いた雪が150cmを超え、「舟形町豪雪対策本部」を設置。雪害を防止するために安全な除雪作業、雪崩被害防止、農業被害へ対策を講じました。高齢者や一人暮らしの世帯などへの支援を強化しました。



大郷町と災害時協定締結

(11/13)

宮城県大郷町と「災害時相互援助に関する協定」を締結。その調印式を大郷町役場で行いました。この協定は災害が発生した際にお互いに協力していくことを約束するもので、食料や日用品などを提供、ボランティアの斡旋をします。



堀卯三郎氏胸像建立除幕式

(11/12)

三光堰の整備に着手した堀卯三郎氏の偉業を讃え、沖の原公民館前に胸像が建立され、除幕式が行われました。これは、堀卯三郎氏の功績を後世に末永く語り継ぐため、ご家族からのご寄託により胸像建立実行委員会が建立したものです。



もがみねぎ販売高2億円達成

新庄もがみ農協ねぎ生産者協議会のねぎ『もがみねぎ』の販売が、初めて2億円を超えました。舟形町の南部営農センターでの販売額が6千9百万円を超え、前年度比較46%増となりました。来年度目標販売額は8千万円です。



縄文の女神でまちおこし

(6/8~10、8/4~5)

土偶「縄文の女神」が14年ぶりに里帰り。「里帰り展」には約5000人の来場者が訪れました。8月4・5日には、まちづくり研究団体「Tmプロジェクト」と青年団体「FITS」、西堀町内会が「縄文炎祭」を開催。大盛況となりました。



第1回ヒストリックカーミーティング

(7/29)

『もがみ観光博』連携イベント第1弾「第1回ヒストリックカーミーティングin舟形」が小国川河川公園で開催。

ロールス・ロイスやフェラーリ、ジャガーなど時代を代表する名車が勢ぞろい。来場者を魅了しました。



縄文の女神国宝指定

(9/6)

舟形町の宝、西ノ前遺跡から出土した土偶「縄文の女神」と附47点が国宝に指定されました。国宝指定は山形県で6件目、最上地域では初、土偶としては全国で4件目です。これからも国宝「縄文の女神」から目が離せません。



- | 12月 | 11月 | 10月 | 9月 | 8月 | 7月 | 6月 | 5月 | 4月 | 3月 | 2月 | 1月 |
|--|--|--|--|--|---|--|--|---|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ▼絵本読み聞かせ講演会(8日) ▼町冬季消防ポンプ性能検査(9日) | <ul style="list-style-type: none"> ▼町自治功労表彰(1日) ▼第2回中学生議会(2日) ▼町営バスを更新(2日) ▼福寿野町内会災害時避難安否確認訓練(3日) ▼伊藤彰彦さん「瑞宝小綬章」受章(6日) ▼舟形中学校「町委嘱公研究発表会」(16日) ▼合同授業参観(18日) ▼富田町内会災害時避難安否確認訓練(18日) ▼長沢小学校「日本PTA全国協議会長賞」(23日) | <ul style="list-style-type: none"> ▼舟形中学校野球部「第4回全日本少年春季軟式野球大会東北予選会」出場(13日) ▼長沢子ども遊々塾「ふるさと塾活動賞」(14日) ▼県知事「ブナの実塾」への訪問(16日) ▼西ノ前遺跡環境整備・広域活用検討委員会設立(26日) | <ul style="list-style-type: none"> ▼佐藤春希くん第54回県子ども絵画展で「県展賞」(1日) ▼町グラウンドゴルフ大会「縄文の女神杯」(3日) ▼町青少年育成町民会議総会(4日) ▼町議会「夜間議会」(7日) ▼第32回ふながた若鮎まつり(8~9日) ▼町民ゴルフ大会(16日) | <ul style="list-style-type: none"> ▼東麻布街づくり協議会の山形自然体験サマースクール(4~5日) ▼成人式、新成人は87名(14日) ▼長沢、富田、堀内地区で盆踊り大会(13~14日) ▼奉納さばね山相撲大会(24日) ▼富長・堀内小学校「三光小学校と最後の交流」(25~26日) ▼沖の原町内会が「山形河川国道事務所長表彰」(29日) | <ul style="list-style-type: none"> ▼丸充建設㈱に町消防団協力事業所表示証交付(2日) ▼輪投げ大会「縄文の女神杯」(4日) ▼もがみ南部商工会青年部の沼沢龍さんが商工会青年部主催発表大会で最優秀賞(10日) ▼児童交流学習(21~23日) | <ul style="list-style-type: none"> ▼㈱大成技術コンサルタントに町消防団協力事業所表示証交付(1日) ▼豪雪の影響で遅れていた松橋わらび園オープン(3日) ▼第46回町小学校陸上競技大会(6日) ▼長沢地区で糖尿病予防検診(10・17日) ▼町消防ポンプ操法大会(24日) | <ul style="list-style-type: none"> ▼町内4小学校最後の運動会(27日) ▼第5回小学校統合準備委員会(30日) ▼㈱大成技術コンサルタントに町消防団協力事業所表示証交付(1日) ▼豪雪の影響で遅れていた松橋わらび園オープン(3日) ▼第46回町小学校陸上競技大会(6日) ▼長沢地区で糖尿病予防検診(10・17日) ▼伊藤宏さん「東北管区行政評価局長表彰」(18日) | <ul style="list-style-type: none"> ▼転入者定住交付金第1号贈呈(7日) ▼町スポーツ少年団結団式(14日) ▼西ノ前土偶「縄文の女神」国宝答申(20日) | <ul style="list-style-type: none"> ▼絆ぞうり贈呈式(石巻市)(10日) ▼町国際交流大会(25日) | <ul style="list-style-type: none"> ▼町囲碁・将棋大会(11日) ▼町ラジボール卓球大会(19日) ▼町教育功労者表彰式(20日) ▼薫風寮で「陶芸で合コン」(26日) ▼Funagata Winter Fes. 2012(25日) | <ul style="list-style-type: none"> ▼第25回新春町民なわとび大会(22日) ▼恋の胸さわぎ2012 winter(28日) |

12 主な出来事

特集 ありがとう、小学校

ありがとう、小学校。舟形小学校。

～校章の心～
(制定：昭和33年12月1日)



小の文字は小学校であり、子どもたちである。三方にはり出した形は、小国川を行き通ったであろう舟の帆を意味する。3つの帆はそれぞれに「学校」「地域」「家庭」を表現し、帆形は、子どもたちの「たくましさ」「賢さ」「優しさ」が外へ向かってどこまでも広がることへの願いでもある。

～児童数の推移～

明治7年	明治34年	大正元年	昭和10年
119人	107人	254人	497人
昭和35年	昭和50年	平成10年	平成24年
517人	231人	250人	131人



舟形町の中心部に位置する舟形地区。この地区で子どもたちの成長を138年間見守り、地域と共に歩んできた舟形小学校が、今年度、長い歴史に終止符を打ちます。平成25年度統合小学校「舟形小学校」開校に当たり、4つの小学校が幕を閉じます。特集「ありがとう、小学校」。最終回は舟形小学校です。

舟形小学校の目指す子ども像は「こよく やさしく かっこいい子」です。「こよく」とは、人の役に立とうとする丈夫な心と、いろんな運動を体験し丈夫な体をつくること。「やさしく」とは、力のある子も弱い子も、お互いにわかり合う豊かな感性を育むこと。「かっこいい」とは、自分の考えを他に伝えることができる力を養い、他の考えも積極的に理解し、一人ひとりの子どもの学び力を鍛えることです。笑顔が輝き、元気あふれる舟形小学校の子どもたち。そんな子どもたちの笑顔とともに舟形小学校の歴史を振り返ってみましょう。

舟形小学校校歌

作詞 石森 延男
作曲 羽場 匡雄

一、光あふれる鳥海山
 明るいみねをおおぎつつ
 正しい道をまじぐらに
 きょうも歩こう元氣よく
 きれいな教室
 よい学校
 みんなの舟形小学校

二、風もさわやかうら山の
 みどりの木々に鳥が鳴く
 からだは強くたくましく
 あすものびようすくすくと
 きれいな教室
 よい学校
 みんなの舟形小学校

三、いつもすんでる小国川
 流れにうつる空のいろ
 望みは高くおおらかに
 さあさあ学ぼう毎日を
 きれいな教室
 よい学校
 みんなの舟形小学校

～舟形小学校の軌跡～

- 明治 7年 旧代官役家を借受けて開校。就学児48。(学齢児119人中)
- 17年 学区改正により最上郡第五番学区中等小学と定まる。
- 20年 学制改革により舟形尋常小学校となる。(小学校令施行)
- 26年 卒業証書発行、はじめて台帳に載る。(4名)
- 30年 洋風2階建ての斬新な校舎を新築。88坪、建築費963円50銭。
- 34年 舟形高等小学校を設置。
- 37年 舟形尋常高等小学校となる。高等科3年以上に農業科を加える。
- 大正 6年 2階造り47坪5合を増築。
- 8年 舟形中部尋常小学校と改称。
- 9年 太郎野分教場常設となる。(尋常科4年まで)
- 14年 新校舎落成。尋常科児童数423、高等科127。
- 昭和 元年 校舎の周囲に50本の桜を植樹。
- 11年 東校舎を増築。
- 16年 舟形村中部国民学校と校名変更。
- 20年 本土防衛隊が召集され、学校を宿舎とする。
- 21年 嵐沢に分教場設置。学校後援会、母の会を結成。
- 29年 12月1日、舟形町立舟形小学校と改名。
- 35年 文集「とろんこ」創刊。
- 39年 校舎落成、記念式典挙。 (昭和37年より工事開始)
- 41年 新校歌を制定。「よい歯の学校」全国表彰。
- 42年 「わかあゆ学級」を設置。
- 46年 県「学校新聞教育研究大会」会場校として実践を公開。
- 49年 「創立百周年」記念式典挙行。
- 58年 東京都港区飯倉小学校との交歓学習始まる。
- 60年 大平分校・太郎野分校を開校。(3月)
- 62年 文部省指定「むし歯予防推進」研究発表会。(9月)
- 平成 元年 東京都世田谷区立代沢小学校との交流学習が始まる。
- 9年 新校舎落成。(平成8年より工事開始)
- 11年 プール完成。(6月) すもう場完成。(6月)
- 13年 町教育委員会委嘱研究。(平成13～15年度)
- 14年 代沢秋季交流で世田谷区長を表敬訪問。
- 16年 「創立130周年」記念事業開催。
- 17年 特殊学級を開設。
- 19年 PTA全国協議会長賞受賞。(11月)
- 20年 代沢交流20周年記念式典・祝賀会。(7月)
- 町教育委員会委嘱研究発表会。(10月)
- 県よい歯の学校表彰受賞。(12月)
- 21年 交通安全優良校受賞。(5月)
- 「小さな親切」実行章受章。(2月)
- 22年 東京海上日動教育振興基金学校表彰受賞。(1月)
- 23年 町教育委員会委嘱研究。(平成23～25年度)
- 地区PTA研修大会の会場となる。(7月)



大正14年落成の校舎



昭和30年代の給食



創立100周年



平成元年世田谷区交流



現在の校舎



昭和26年運動会



昭和39年落成の校舎



昭和61年水泳大会



平成14年スキー大会



平成24年運動会集合写真

地域の想い



佐藤 正良さん
(太折)

平成25年の4校統合小学校の話聞き、昭和60年に閉校になった太郎野分校の賑やかな遊び声などが思い出されました。当時は子ども減少、交通の利便性の改善などで閉校となりましたが、現在もその流れを止めるに至らず、今回の統合となりました。これも時の流れとはいえ心な痛みを感じられます。閉校する学区の方々と先生方の愛情を受け、学んだ子どもたちの勇気と力を重ね合わせ、より素晴らしい新生舟形小学校でありますことを願います。



八鞆 雅章さん
(紫山)

舟形小学校の長い歴史と伝統が、まもなく閉じられようとしています。これも、でも、校舎建替えに伴い取壊しを見てきた方々は、思い出を削ぎ取られるような思いがあったことと拝察します。舟形小学校は校舎と校名は残りますが、校歌や校章、歴史や伝統が一新されることに違いはありません。数々の思い出を育んでくれた舟形小学校は、これまで学校に関わったみなさんの心に、深く刻まれていきます。138年分の思い出をありがとうとございませう。



沼澤 紀美子
(舟形第3)

舟小は、創立138周年を迎えます。私の3人の子どもは前校舎で舟小を築立ちました。年間の行事や飯倉小との交流など子どもたちと過ごした思い出が心に残っています。学年ごとに発行される文集「ころんこ」では子どもの成長の姿を知ることが出来ました。また、PTAの一員として保護者や地域の方々とつながりを深めることが出来ました。民生児童委員、食育活動を通して親子と触れ合えたことが印象深く思い出されます。舟小の思い出ありがとう。



沼沢 貴宏さん
(西堀)

「光あふれる鳥海山、明るいみねを、あおぎつつ…」と口ずさむと自然豊かな舟形の風景が目につきます。運動会などの行事で友達と一緒に大きな声で歌ったことを思い出します。そんな舟小の児童が138年間にわたり元気に歌ってきた校歌が、小学校統合に伴い新しくなると聞きました。慣れ親しんだ校歌が変わるのは、寂しく感じますが、新しい舟形小学校の歴史の始まりに期待したいと思います。頑張れ舟形の子どもたち！

悠久の歴史の中で、輝く未来へ



第37代舟形小学校校長
黒坂 玲子さん

先生の想い

Interview

児童の想い



舟形小学校6年
吉田 朱里さん(舟形第3)

舟形小の伝統をこれからも

138年の歴史を持つ本校も、閉校の時を迎えます。一抹の寂しさを覚えますが、それは、町内すべての児童により良い教育を受けてもらうため、町内の4校を一つの学校に統合することによる、いわば「発展的閉校」です。発展的とはいえ、本校の138年の歩みも決して平坦なものではありませんでした。本校は明治7年に創立されましたが、大正を経て昭和に入ると、長く続いたアジア太平洋戦争の時代があり、教師にとっても教え子にとっても、つらく悲しい出来事がありました。そして、戦後、学校教育は大きく転換をしました。しかし、昔も今も変わることのない姿があり

わたしたちの舟形小学校は、今年138歳をおかえました。これまでの138年の長い歴史に感謝したい気持ちでいっぱいです。わたしたち6年生は、社会の歴史の学習で舟形小学校の始まりや、第二次世界大戦中の小学校の様子や子どもたちの様子を学習することが出来ました。明治20年の学制改革で舟形尋常小学校となり、昭和20年に戦争が終わって、昭和29年に舟形町立舟形小学校となったことを知りました。舟形小学校には、素晴らしい伝統があります。一つ目は、1年間に4回あるハ

ます。それは、奉職された先生方の教育に対する熱い姿勢と、それに応えようとする健気にがんばる子どもたちの姿です。西ノ前遺跡から出土した「縄文の女神」は、国宝に指定されました。舟形の亜炭鉱は、その規模、生産量とも日本一と言われました。この悠久の歴史の中で、舟形の子どもたちは、一つの学校に集い、新たな学びの歴史を刻むこととなります。新しい舟形小学校に輝ける未来あれーとお祈り申し上げます。最後にこれまで舟形小学校を支えてくださいましたすべての皆様へ、お礼を申し上げます。ありがとうございました。

ツピータストです。どの学年も一人ひとりが目標に向かって頑張れる良い機会になっていきます。二つ目は、5年生の代沢小学校との交流です。友情や絆が生まれる楽しい思い出いっぱいあります。三つ目は、毎年行われる運動会です。今年の運動会は、私にとって最高の思い出です。みんな心を一つにして取り組めたからです。この他にも舟形小学校の良さは、まだまだあります。138年の長い歴史の中で、引き継がれてきた伝統がこれからも更に良いものになってほしいと思います。舟形小学校138年間ありがとうとございませう。

舟形小学校での思い出

6年23名に舟形小学校での思い出を聞きました。



思い出に残った代沢小交流学习 笑顔いっぱい夏と秋	堀内小と合同の楽しかった 仙台旅行	走って、すべて吹雪の中の スキー大会!	仲間と共にラストラン! 春の大運動会
おいしい米作り収穫感謝祭の もちつき	カとカをぶつけ合った 校内相撲大会	力強く踊った舟子ソラン 若鮎祭り	一人一人が輝いた 舟小祭大成功

【取材を終えて】舟形小学校の正面玄関前で出てくれる「トンボ」のコメント。このモニコメントに込められた願い…。

トンボのような大きな目で世界をしっかりと見てほしい。トンボのような大きな羽ではばたいてほしい。ねじれたシツポのように知恵をしぼれ、頭を使え。

そんな願いが、これからの新しい「舟形小学校」にも受け継がれ、子どもたちは大きくおおきく成長していくことでしょう。





ふるさとCM大賞は私たちの舟形町の魅力をPRするためのものです。今回は、9月6日に、国宝に指定された西ノ前土偶「縄文の女神」を題材に、たくさんの方々のご協力のもと、完成しました。4,500年前に西ノ前で作られた土偶。その造形の「美しさ」をPRしました。

また、山形テルサで行われた審査会には、地域おこし協力隊の2人も参加。結果は、「ユーモア賞」を受賞。2年連続での特別賞受賞となりました。



ユーモア賞受賞

舟形と言えば「縄文の女神」。映像もきれいで良かったです！モデルの方もすごくきれいでした。



右：カメラマン役 小林信之さん（地域おこし協力隊）
中：演出・声担当 飯田雅子さん（地域おこし協力隊）
左：モデル役 矢口 静さん（西堀）

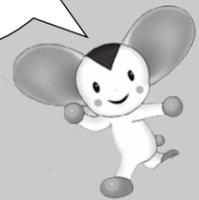


特別審査員
山形県企画振興部
部長 廣瀬 渉さん



【司会】
左：八波一起さん
右：佐藤 唯さん

12月29日（土）
正午～Y.T.Sで審査会の様子が再放送されます。みなさんでみられるん。



みなさんでみまじょう！！

第14回ふるさとCM大賞をつくってみませんか？
仲間、職場で、学校単位で！
「こんな舟形町をPRしたい！」
そんな想いを15秒のCMとして形にしてください。

また、アイデアも募集しています。

▼問い合わせ先
舟形町役場まちづくり課企画調整班
☎（32）21111（内線313）

第13回 山形ふるさとCM大賞

地元の魅力やイメージをPRする手づくりCMの祭典「山形ふるさとCM大賞」に、今回は国宝「縄文の女神」が参加しました。

タイトル ビューティー
「縄文beauty」



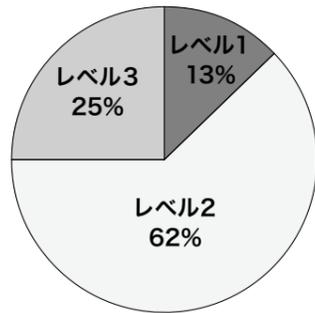


セーブ・メディアにチャレンジ

夏休みに実施 対象/舟形小学校全児童129名 回答/124名 回答率/96.1%

舟形町の小・中学校では「生活リズムの確立」に向けて、各学校でいろいろな取り組みを行なっています。舟形小学校では、夏休みを活用して、ゲームやテレビ、パソコンの使用を控える取り組み「セーブ・メディア」にチャレンジしました。その結果は次のとおりです。

☆チャレンジレベル



- レベル1 (夏休み中1回)
- レベル2 (週1回)
- レベル3 (週2回以上)



チャレンジレベル2 (週1回) にチャレンジした人が多く、全体の62%でした。次いでレベル3 (週2回以上) でした。

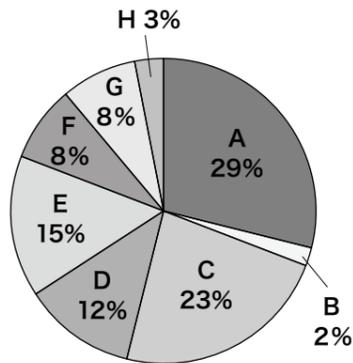
【感想】

◎レベルを決めて挑戦できるから、無理なくできて楽しかった。



☆チャレンジメニュー

A (食事中はテレビを消す) にチャレンジした人が最も多く、次いでC (夜9時以降消す)、E (1日1時間まで)、D (1日2時間まで) の順でした。なかには、FやGにチャレンジした人も8%いました。



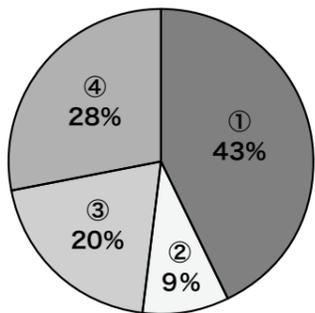
- A 食事中はテレビを消す
- B ラジオの活用
- C 夜9時以降消す
- D 1日2時間まで
- E 1日1時間まで
- F 1日30分まで
- G 1日中見ない・しない
- H その他



【感想】

◎チャレンジの日は、勉強したり本をたくさん読んだりして、とても良かったです。

☆チャレンジした人



- ① (自分ひとりで)
- ② (子どもだけで)
- ③ (親子で)
- ④ (家族みんな)
- ⑤ (その他)



「自分ひとりで」にチャレンジした人が多いのは、D・E・F・Gのメニューでした。A・Cについては、「親子で」「家族みんな」のチャレンジが多かったです。

【感想】

◎テレビを消して、家族のみんなと話しながら、食べるご飯の良さが少しわかりました。
◎メディアなしの生活が難しくなっている事を改めて実感しました。次回は家族みんなですuccessさせるようにがんばります。

1日の生活リズムが、心と体の健康や学習にも深く関わっていると言われていています。テレビやパソコン、ゲームなどのメディアを見る時間をセーブし、他のことにその時間を充てて生活してみましょう。

小学校統合準備委員会 進捗状況

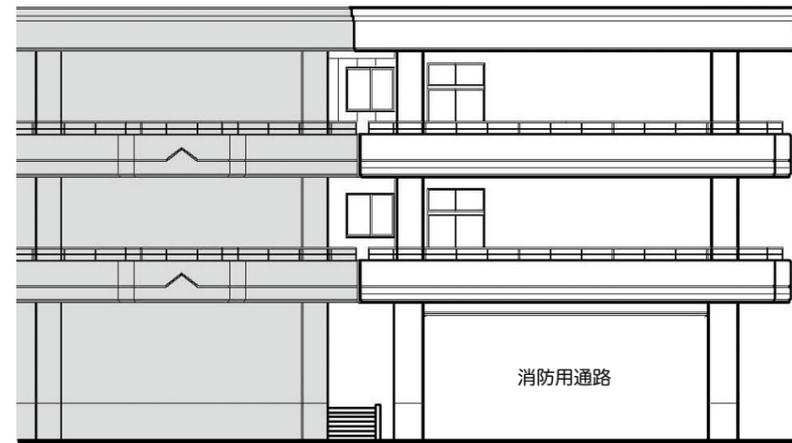
夢と希望を与える新小学校に
～その5～

平成25年4月の新小学校開校に向け、多くのみなさまからご意見をいただきながら、準備を進めています。「かしこく やさしく たくましい 子ども像」を目指し、「豊かに学び、笑顔あふれる子どもの育成」という学校教育目標案を策定しています。統合準備の3つの部会(「校名、校章、校歌部会」「学校運営部会」「教育環境整備部会」)より準備の進捗状況と今後の検討事項についてお知らせします。

平成24年度舟形小学校増築工事の概要

- ・校舎増築 ・空調設備 ・厨房器具入替
- ・下駄箱 ・記念碑 ・バス車庫新築 など

(図1) 立面図



<校舎増築>

(2・3階)
教室 (63.75㎡) 4つ
ベランダ
らせん階段
トイレ2つ

(1階)
消防用通路

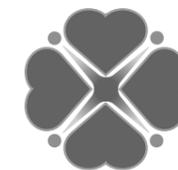


「教育環境整備部会」

PTAの組織に関することやスクールバスの運行に関するお知らせします。
○新PTAの組織規約…平成25年度の新舟形小学校PTA総会で承認され、決定されます。
○校舎増築…35人以下学級に合わせ、4教室を増築する工事を行なっています。(図1)
○スクールバスの運行…平成25年度からスクールバスが2台増え12台体制での運行となります。停車場や時間については現在検討中です。今後、保護者の方などからご意見をいただき1月末までに決定します。

「学校運営部会」

主な学校行事についてお知らせします。
○運動会…従来同様に開催。
○陸上競技大会…大蔵小学校との開催を計画。
○児童交流学習…代沢小・山崎小と継続していくことで調整中。
○水泳大会…夏休み期間中に開催。
○相撲大会…8月24日の猿羽根山相撲大会には、4年生以上の男女全員が参加し、町の伝統行事の継承を踏まえた校内相撲大会として開催。1～3年生は校内大会で保護者の参観ができるように開催。
○文化祭…従来同様に開催。
○スキー大会…従来同様に開催。



新小学校の校章

「校名、校歌、校章部会」

校名は平成24年6月議会で議決され、校歌、校章も決定しました。「広報ふながた」平成24年6月号で報告しているとおりです。

校舎等跡地利用を検討

統合後の校舎などの跡地利用については、学区の方々に委員をお願いして、「学校跡地活用検討委員会」を組織し、事務局の総務課、教育委員会と検討しています。

統合準備委員会や多くのご意見をいただきながら、子どもたちに夢と希望を与える学校づくりを進めていきます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

▼問い合わせ/舟形町教育委員会
☎ (32) 2379



町職員の給与等のあらまし

「舟形町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、町職員の給与や勤務条件等について公表するものです。

【町職員給与の決定のしくみ】

町職員の給与は、民間給与の調査に基づく国の人事院勧告や県人事委員会の勧告により、他の地方公共団体などとの均衡を考慮したうえで定められています。

1. 人件費の状況

(普通会計決算 平成23年度)

住民基本台帳人口 (平成24年4月1日現在)	歳出額 (A)	人件費 (B)	人件費率 (B/A)	平成22年度の人件費率 (参考)
6,107人	4,457,482千円	712,658千円	15.98%	18.9%

(注) 人件費には、特別職に支給される給料・報酬を含みます。

2. 職員給与費の状況

(普通会計予算 平成24年度)

職員数 (A)	給与額				職員1人当たりの給与費 (B) / (A)
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 (B)	
73人	316,784千円	40,516千円	117,509千円	474,809千円	6,504千円

(注) 1. 職員手当には退職金は含まれません。
2. 平成24年度当初予算に計上した職員数及び給与額です。

3. 職員の期末・勤勉手当

(平成23年度の支給割合)

区分	6月期	12月期	計
期末手当	1.225月分	1.375月分	2.60月分
勤勉手当	0.675月分	0.675月分	1.35月分



4. 職員の平均給料月額及び平均年齢の状況

区分	舟形町 (平成24年1月1日現在)	
	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	359,200円	47歳5月
技能労務職	345,400円	54歳8月

(注) 平成24年度当初予算資料です。

5. 職員の退職手当

(平成23年度)

区分	自己都合	勤奨、定年
支給率	勤続20年	23.50月分
	勤続25年	33.50月分
	勤続35年	47.50月分
	最高限度額	59.28月分
その他の加算措置 定年前早期退職特例措置 (2~20%加算)		

(注) 国の職員と同じ支給率です。

6. 特別職の報酬等

(H24.4.1)

区分	給料月額等
給料	町長 574,000円
	副町長 527,000円
	教育長 518,000円
報酬	議長 310,000円
	副議長 250,000円
	議員 230,000円
期末手当	町長 (平成23年度の支給割合) 6月期 1.40月分
	副町長 12月期 1.50月分
	教育長 計 2.90月分
	議長
	副議長

【これまでの主な取組内容】

【人件費縮減の取組】
「自立のまちづくり」「協働のまちづくり」に向けた「集中改革プラン」を推進するため、職員数の削減や時間外手当等の削減による人件費の縮減に取り組んでいます。

7. 時間外勤務手当・特殊勤務手当の支給状況

区分	支給総額	職員1人当たり	選挙などの時間外勤務手当を除いた場合	
			支給総額	職員1人当たり
平成22年度	11,115千円	142千円	7,228千円	92千円
平成23年度	9,319千円	124千円	6,228千円	92千円

(注) 平成23年度中は、舟形町議会議員通常選挙、舟形町長選挙等がありました。
・特殊勤務手当には、防疫等作業手当、死体・火葬作業手当等5項目がありますが、平成23年度中に支給した手当は有りません。

8. 職員数の状況

部門	実績数							計画数 平成24年度	減数比較	
	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24		計画減数 (平成23-平成17)	実績減数 (平成24-平成17)
一般行政	93人	90人	90人	87人	86人	83人	80人	80人	—	▲14人

(注) 職員数には、教育長を含んだ数となっています。
・平成17年度からの定員管理計画等に基づき平成30年に79名という目標を掲げ取り組んでおりましたが、職員数削減が計画より大幅に進んでいるため、平成24年度に計画を見直しております。

9. 職員のサービスの状況

(平成24年4月1日)

勤務時間	・始業時間 午前8時30分 ・終業時間 午後5時15分 ・休憩時間 正午から午後1時
休暇などの状況 (平成23年1月1日~平成23年12月31日) 職員数82人	・総給与日数 3,224日 ・総休暇取得日数 564日 ・平均取得日数 (1人当たり) 6.8日 ・消化率 17.4%
懲戒処分等の状況	無

10. 研修の状況

山形県市町村職員研修所における研修
・課長級職員研修・課長補佐級職員研修・法制執務研修
・政策形成能力向上研修・協働のまちづくり研修等 24名受講
その他の研修
ファシリテーション研修・第6次産業ビジネス研修・メンタルヘルス研修等

11. 福利厚生事業の実施状況

(平成23年度の実績)

公費支出の状況	内訳	山形県市町村職員互助会費	職員健康診断委託料	家族弔慰金	職員1人当たりの公費支出額
1,394千円		867千円	512千円	15千円	16千円

(注) 1. 山形県市町村職員互助会とは、県内の全市町村職員が加入する団体で、共済組合で行う事業の補完的業務(結婚祝金、弔慰金、災害見舞金等)を行っています。
2. 職員健康診断委託料は、住民の方々が行う健康診断・職場で行う健康診断と同様に、循環器検診や胃ガン検診等を実施しています。
3. 家族弔慰金は、職員の同居親族が亡くなった場合に、お悔み代として1件当たり5,000円を交際費より支出しています。

山ちゃん日記 Vol.18



山ちゃんこと
山川指導監

日に日に寒さが厳しくなり、温かいものが恋しい季節となりました。舟形町やまがた地鶏振興協議会では、今年も野菜付きやまがた地鶏鍋セットの販売を行います。また、部位ごとにバラした1羽セットもご用意しており、みなさんのお求めやすい価格としております。12月16日からは産直まんさくでも取り扱っています。

価格：地鶏の鍋セット野菜付き (5,000円)
地鶏オス (3,500円)・地鶏メス (3,000円)

▼問い合わせ/チャレンジ農業実践塾(舟形町産業振興課農政班)
☎(32) 2111 (内線426)

～チャレンジ農業実践通信～

産直まんさくで販売開始!



産直まんさく店内での販売の様子



12月9日、舟形町中央公民館で、絵本作家宮西達也さんによる「絵本読み聞かせ講演会」が開催され、約180名の親子が参加。絵本を読みながらの講演会に参加者は満面の笑みを浮かべていました。



11月18日、舟形小学校を会場に、町内全児童が集まったの合同授業参観が開催されました。これは、来年度にスタートする新しい環境でスムーズに学校生活を送れるようにと開催されたものです。



11月18日、富田町内会が「災害時避難安全確認訓練」を開催。住民198名が参加しました。この訓練は、富田町内会での話し合いから、「災害時への備えをしよう」と取り組んだものです。



12月8日、町冬季消防ポンプ性能検査が行われました。これは、消防ポンプの保守管理を徹底するために行うもので、「自分たちの地域は自分たちで守る」という消防団精神の表れです。



11月30日、(財)東北郵便局長協会山形県北部地区最上南部会から、車イス2台が寄贈されました。いただいた車イスは役場に設置するなどし、町福祉の向上のために活用していきます。



12月9日、福寿野町内会が地域づくり講演会を開催し、住民50名が参加しました。テーマは健康。健康な体を作るための栄養講座と似顔絵ショーで笑顔になるポイントを学びました。



12月14日、町防犯協会と交通安全協会舟形支部が年末の防犯キャラバンを行いました。今回、交通安全協会最上支部などから寄贈を受けた青色回転灯を付けて、町内を巡回しました。



11月18日、洲崎町内会と町内の産業廃棄物協会、町衛生組合連合会の方々など36名のみなさんが、堀内地区で不法投棄されている箇所の原状回復作業を実施。約2トンの産業廃棄物を回収しました。



11月17日、舟形観光情報館主催の「新そば味覚まつり」が生涯学習センターで開催されました。町内外から来場した235名の方が蕎麦会の新そば(最上早生)に舌鼓を打ちました。



ほほえみ保育園発表会

わだい①

12月15日、舟形ほほえみ保育園で発表会が開催されました。「あるいていたら」や「わあ〜お!」などの148名の園児のお遊戯や歌に、観客から大きな拍手が送られました。

また、会の終わりには、ほほえみ男組や保護者による未来戦士「スマイルマン」と白い大きな袋を持ったサンタさんが登場。上手に発表してくれた園児たち全員に、楽しいヒーローショーとお菓子などのクリスマスプレゼントが贈られました。

光のしずくタワーが出現!

わだい②

12月9日、地域密着型複合施設ほなみで敷地内に設置したイルミネーション「光のしずくタワー」の点灯式が行われました。この光のしずくタワーは、地域住民と施設職員で構成される「しずくの会」(代表 佐藤栄起さん)が、地域を明るく照らすシンボルにしようと企画。1口500円の会員を募り、約460名の賛同により実施されました。訪れた人たちは約1万個の電球の幻想的な雰囲気を楽しみました。1月10日まで毎日点灯します。



日本PTA全国協議会表彰受賞

わだい③

長沢小学校PTAが「日本PTA全国協議会長賞」を受賞し、11月30日、記念祝賀会が行われました。長小PTAの、地域の方と深く関われる「遊々塾」、世田谷区山崎交流の実施、『ああ よいおかお』の長沢家庭教育宣言などが評価されての今回の受賞となりました。

大場清志会長は「閉校となる記念の年にこのような賞をいただけて嬉しい。諸先輩方が築きあげてきた成果です。」と喜びを話してくれました。



今場所の琴福寿さん

平成24年九州場所 福岡国際センター(福岡) 11月11日~25日



4勝3敗

関取目指して、頑張れ!!

琴福寿秀太さん(福寿野出身) 西幕下23枚目

- 2日目 ●上手投げ 東幕24 出羽鳳
- 3日目 ○小手投げ 西幕22 若乃島
- 5日目 ●引き落とし 西幕21 千代丸
- 8日目 ○押し倒し 西幕24 宝香鵬
- 9日目 ●送り出し 東幕26 魁
- 11日目 ○押し出し 東幕32 旭大星
- 13日目 ○叩き込み 東幕23 鳥羽の山

まちのわだい

舟形町ではホームページを開設しています。中でも「Oh!News」は新鮮な情報が満載。舟形町HP <http://www.town.funagata.yamagata.jp/>

ふれあい広場
VARIETY INFORMATION

あなたの声をお寄せください
まちの話題、疑問、質問、
提言・意見のほか、会員募
集やリサイクル情報（譲り
たい、譲ってほしい）、イ
ラストなど何でも結構です。
広報紙上でできるだけ紹
介しています。

まちづくり課 企画調整班
☎ (32) 2111 (内線313)

1月の納期
◆国民健康保険税
◆介護保険料
◆後期高齢者医療保険料
1月31日(木)まで
忘れずに納税しましょう。

タバコは町内で買ひましょう。
10月のタバコ税は1,231,881円
1月の舟形若あゆ温泉の
休館日は、23日(水)



11月16日に3歳児健診を受けたお子さんの中でむし歯がなかったみなさんです。



長濱 良太くん (舟形第3) 沼澤 大翔くん (一の関) 結城 ふみ子ちゃん (西堀)



沼澤 利珠くん (一の関) 渡辺 蓮くん (紫山) 佐藤 唯愛ちゃん (沖の原) 木島 幸紀ちゃん (洲崎)



溝口 惺心くん (長者原) 佐藤 利央ちゃん (舟形第4) 遠藤 千宙くん (沖の原)

これからも朝晩のハブラシ
を頑張らましょね(^^)
佐藤利央ちゃん
のお母さんより

佐藤さんのお宅では、朝昼晩の仕上げ磨きをしっかりと行い、チョコなどを食べたあとはお茶を飲むなどをして、口の中に食べ物かすを残さないように気を付けているそうです。今後もお子さんのむし歯を増やさないように家族みんなで、取り組んでいきましょう。
保健師より

○空間放射線量測定結果
(11月21日測定)

測定場所	測定値(μsv/h)	
	0.5m	1m
舟形小学校	0.07	0.07
堀内小学校	0.04	0.05
富長小学校	0.06	0.05
長沢小学校	0.06	0.07

○水道水に含まれる放射性物質測定結果
舟形町役場：(11月22日測定)
ヨウ素、セシウム…不検出

新刊書の紹介
(町中央公民館図書室)



アスペルガーの心
フワリ / 著者

むりやり何かをさせられたら、パニックがもっと増す可能性がある。そんなことはぜったいしないでほしい…。アスペルガー症候群である著者がその特性の一つである「パニック」について、明解に内面を分析。



縄文の思考
小林 達雄 / 著者

なぜ、縄文人は容器として極めて使い勝手の悪いデザインを造り続けたのか？土器、土偶のほか、環状石や三内丸山の六本柱等から縄文人の世界観を読み取り、その豊かな精神世界を余すところなく伝える縄文考古学の集大成。

公共施設の
年末年始休業のお知らせ

施設名	年末年始の休業日
○舟形町役場* ○舟形町中央公民館 ○舟形町生涯学習センター ○舟形町農村環境改善センター ○舟形町B&G海洋センター	12月29日(土) ～1月3日(木)
○舟形・大蔵共立うど山斎場	無休
○リサイクルプラザもがみ ○エコプラザもがみ ○ごみ・資源回収業務	12月31日(月) ～1月2日(水)

*期間中も、出生、死亡、婚姻などの戸籍届は出せます。

HAPPY COME COME 8020
達成者コンクール 2012

県の歯科医師会で募集している、80歳以上で自分の歯を20本以上持つお元気な方を対象にしたコンクールにおいて、厳正な審査の結果、今年度舟形町から2名の方が優良で表彰されました。おめでとうございます。県内では455名の方が表彰されています。

みなさんも歯の定期健診を受け、むし歯や歯周病から大切な歯を守りましょう。



- 【優良で表彰された2名】
- 長沢第1 渡邊傳四郎 さん 85歳
 - 西堀 星川 和子 さん 80歳

舟形文芸ひろば

短歌

八十五の歳も見栄をもさりり捨て芸能祭に剣舞舞ひ見む
木瓜の花の会 佐藤景雄(沖の原)
日本海の入日目をあびし大柿送られしばし眼の潤む
木瓜の花の会 布川 英美子(横浜市)
縄文のくらしそのまま土中に覆ひ遺せし先人夷
木瓜の花の会 佐藤和夫(西堀)
アルバムを開いて見ればバスの中三人の友思い懐かし
四季句楽歩 渡部捷一(光生園)

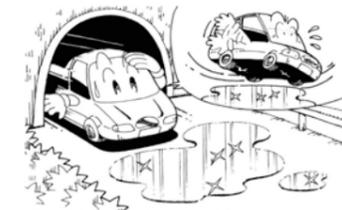
【千風会「やすらぎ、いのり」】

歳月をかけ集積のキルトの技術仲間と展示ほつとやすらぐ
千風会 畠山 ひろみ(木友)
孫を送りわたしの余暇をやすらぎぬ冬日さす机上の本の世界に
千風会 小野 光子(真木野)
初雪は天使と言って祈る吾子の横顔なぜか天使のかがやき
千風会 吉田 智子(盛岡市)
母を恋ふ幼子の手掌上上手なり津波に離かれてはや二歳せ
千風会 景山 晃佑(仙台市)
雪がふり音のないおと伝へくるほつこりと遠く恋せし恋を恋ふ
ほつこりと...やさしくふつくらふりあたたく
千風会 沼澤 千鶴子(鶴陽(舟形第四))
両の掌が凍てて痛むも紙を漉くこれ一枚でとほつとやすらぎ
千風会 大場 秀子(長沢第一)

俳句

素枯る狭庭咲きてこぼるゝ石路のあり
木瓜の花の会 星川 政子(舟形第三)
仕様なくて雪に埋るるままに生き
木瓜の花の会 伊藤 良文(舟形第四)
初雪は一夜で紅葉埋めにけり
木瓜の花の会 佐藤 孝子(舟形第二)

猿羽根路の奥へ奥へと紅葉濃し
朝の会 岸 良子(長沢第三)
柿をもぐ八十路思案の高きかな
朝の会 大場 小夜子(内山)
眠りても尚も気高き鳥海山
朝の会 高橋 ふき子(長沢第三)
師走来るこの一年の早さかな
朝の会 佐藤 昭子(長沢第一)
法被着て新蕎麦こねる力かな
朝の会 柏木 伸子(長沢第三)
鳥海山の初冠雪や甥の婚
朝の会 井上 順子(野)
のきの下日ざしに映える柿のれん
四季句楽歩 渡部 捷一(光生園)
おだやかな橋桁黒く鴨の群れ
四季句楽歩 永沢 幸男(光生園)
散歩する私の肩に赤とんぼ
四季句楽歩 後藤 ふみ(光生園)
山なみが綺麗に染まり冬仕度
四季句楽歩 原田 正昭(光生園)
並木道枯れ葉をふみし散歩かな
四季句楽歩 奥山 早知子(光生園)
神妙に小さき手合はす七五三
四季句楽歩 高橋 信子(長沢第三)
冬はじめ銀のさざ波最上川
未来図の会 吉田 明美(舟形第三)
亡き母のこのみの南瓜切りそびれ
未来図の会 真見 七生(舟形第四)
雨しとど思もろも冬支度
未来図の会 小野 美知子(舟形第四)
薪を割る頑固親父の後影
未来図の会 鈴木 谷五郎(西堀)



まちづくり課 No.332

青いシグナル

高齢者の交通事故多発!

高齢者が夕方の午後4時～6時の時間帯に、徒歩で買い物に行って交通事故に遭うケースが多く発生しています。

また、高齢者の運転する車の事故の約4割が、交差点などでの出会いがしら事故となっています。さらに、事故原因の交通違反を見ると、信号無視(見落とし)や一時不停止の割合が高くなっています。

【安全歩行5則】

- ①“薄暮・夜間は危険がいっぱい”
暗くなってからの外出は控える。
- ②“慣れた道路でも油断大敵”
横断前に必ず左右の安全を確認する。
- ③外出する際は、明るい服装で反射材を身に付ける。
- ④近づいてくる車がある時は、
通り過ぎるまで待ってから横断する。
- ⑤特に左側からの車に注意。

【冬の安全運転5則】

- ①スピードは、夏場より10km/h以上減速する。
- ②車間距離は、路面乾燥時の2倍以上とする。
- ③急加速、急ブレーキ、急ハンドルなどの
急激な操作を避ける。
- ④視界不良時は、前方をよく見て早目に徐行する。
- ⑤危険がいっぱい、追い越しはしない。

舟恋

ふな こい

～地域おこし協力隊員のつぶやき～

地域おこし協力隊の飯田雅子と小林信之です。このコーナーでは、私たちが舟形町の魅力を発見し、地域のみなさんにお伝えしていきます。

～Vol.9～

今月のまちゃ隊員

12月7・8日、映画「よみがえりのレシピ」を町内3カ所上映し、合計144名の方にご来場いただきました。「種を継ぐ農家さんの姿に感動した。」「舟形の在来野菜を知らなかった。守りたいと思った。」などのご意見をいただきました。召しあがっていただいた納豆汁や呉汁も好評でした!みなさん、ご協力ありがとうございました。



今月のこぼやし隊員

とうとう、雪が降ってきました。雪は粒が大きめで、あられのような感じでした。雪が降るのは楽しみ1割、不安4割、寒さ5割で、布団から出るのに時間がかかってしまいます。地域のみなさんは、「まだまだ序の口だよ!」と話していますが…。道路も凍っているの、運転するとき、歩くとき、そして喋るときも滑らないように気を付けたいです…。

ここでは書ききれない日々の活動や暮らしのこと、想いを綴った日記(ブログ)をインターネットで公開しています。ご意見・応援のメッセージなどをお寄せください。

- 飯田雅子ブログ『Earth Dayな日々』<http://www.treep.jp/blog/earthday/>
- ★小林信之ブログ『アユオの活動物語』<http://funagataayu.blog.fc2.com/>

成人式を迎えました!



かとう まなぶ
加藤 学さん(堀内)

- ◆自分を一言で…………… 優しい
- ◆現在の職業は?…………… 製造業、常に真剣に取り組んでいます!
- ◆好きな言葉は?…………… 明るく 楽しく 元気よく!
- ◆尊敬する人は?…………… 兄
- ◆趣味は?…………… 車、音楽、服
- ◆今、一番欲しいものは?…………… お金
- ◆舟形町の良いところは?…………… みんながあつたがい
- ◆10年後の舟形町は?…………… 子どもがいっぱい増えればいいな
- ◆成人式を終えて…………… 相手を想いやる言葉と行動を心がけていきます!

緑のふるさと協力隊

井村君がいく



「緑のふるさと協力隊」の井村亮太です。
舟形町内の地域活動や農作業のお手伝いをしています。

今月の活動(11月16日~12月15日)

- 農作業お手伝い(小松菜・アスパラ菜・大根・里芋)
- 雪囲いお手伝い(地域の民家やブルーベリー畑)
- 生涯学習センターで新そば味覚まつり
- 大工さんたちと一緒に松橋地区で神社改築
- 男の料理教室



男の料理教室
パエリアや豚しゃぶを作りました

～沖ノ原で被災者の方々と交流しました～

11月25日、沖の原地区の方々と宮城県の前住宅で暮らしている被災者の方々と交流事業が行われました。白菜やネギの収穫、そば打ちを体験した後、若あゆ温泉へ。日ごろの疲れを癒していただきました。被災者の方の前向きな姿勢に、こちらが元気をもらいました。東北・舟形に来て、震災と復興に真剣に向き合えることができました。



沖の原でのそば打ち

11月2日~12月1日届出分

ご結婚おめでとう

富田第1 石山 寿光
三川町(飯野)亜弓

お誕生おめでとう

長沢第3 高橋 空夢(沙織)

おくやみ申し上げます(世帯主)

- 経塚原 大場 志覚 87(優)
- 舟形第1 土田 吉男 78(桂子)
- 舟形第3 阿部 登 82(善徳)
- 木友 吉田 正利 76(本人)
- えんじゅ 竹澤まつ江 88(本人)
- えんじゅ 庄司すなよ 93(本人)
- えんじゅ 狩野百合子 91(本人)
- ほなみ 井上勝太郎 88(本人)
- ほなみ 星川 照子 86(本人)

○掲載を希望される方は、届け出の際に申し出てください。

人口と世帯

11/30 (現在)	男	2,973人 (-3)
	女	3,110人 (-3)
	計	6,083人 (-6)
世帯		1,917世帯(±0)
()は前月比		

選挙人名簿登録者数

(12/2現在)	
男性	2,441人
女性	2,648人
計	5,089人



参加者全員での昼食会



被災地農園での白菜収穫

開拓者精神と支え合いの心

〜沖の原町内会〜

開拓者精神：チャレンジする意欲と何事にも耐える力

そんな想いを先人から受け継ぐ、沖の原町内会のみなさんが、東日本大震災で被災し、仙台市宮城野区扇町仮設住宅で暮らす16名の方と交流しました。

11月25日、佐藤常勇さんの原田山の被災地農園には、沖の原町内会の有志10名と沖の原消防団員10名など、たくさんの方々が集いました。私にできることはないだろうか、白菜収穫とそば打ち体験は、寒空の中にも心温まるものとなりました。

たくさんさんの白菜のお土産と心の込められた汁や芋煮の振る舞いに、参加した被災者の一人は、「自分で打ったそばのおいしさや旬のものを食べる喜びを味わうことができました。これも沖の原町内会のみなさんのおかげです。仮設住宅で暮らすストレス解消と気分転換ができました。」と話してくれました。

沖の原町内会長の遠藤繁雄さんは、「これをきつかけに、困った時にお互いが支え合える関係を作っていきたい。」と話しました。

農地開墾時代を経た沖の原町内会は、その「開拓精神」と支え合いの心から、これまで多くのものを創りだしてきました。そんな想いが、仮設住宅で暮らす方々のこれからの挑戦のエネルギーに、そして、東北の明日を「拓く」一筋の光に…。

畑を耕すように、稲が育つように、少しずつすこしずつ繋がっていくはずです。

空欄に文字を入れてください

舟形小学校の目指す子ども像

「つよく やさしく ○○○○子」

郵便ハガキに、○に入る答えと住所・氏名・電話番号を明記してご応募ください。【メ切：1/11必着】

▼応募先／〒999-4601 舟形町舟形263
舟形町役場 広報ふながたクイズ係
メールからの応募もできます。

▼アドレス／info@town.funagata.yamagata.jp

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。



舟形若あゆ温泉
協賛

★広報ふながたクイズ!

「1名様に若あゆ温泉入浴券
(2回分)プレゼント」

表紙の紹介

ティーボールとはティーという台の上のボールを打つ野球に似たスポーツで、だれでも楽しめます。「子どもたちにいるんなスポーツを体験できる機会を」と、舟形ビッグセンターが企画しました。

